

芸術祭 入賞作品

写真は、10月6日に香美市役所で行われた香美市芸術祭写真審査会入賞作品です。今回は46点の応募作品の中から、特選3点・褒状6点が選ばれました(審査は津野廣幸氏)。

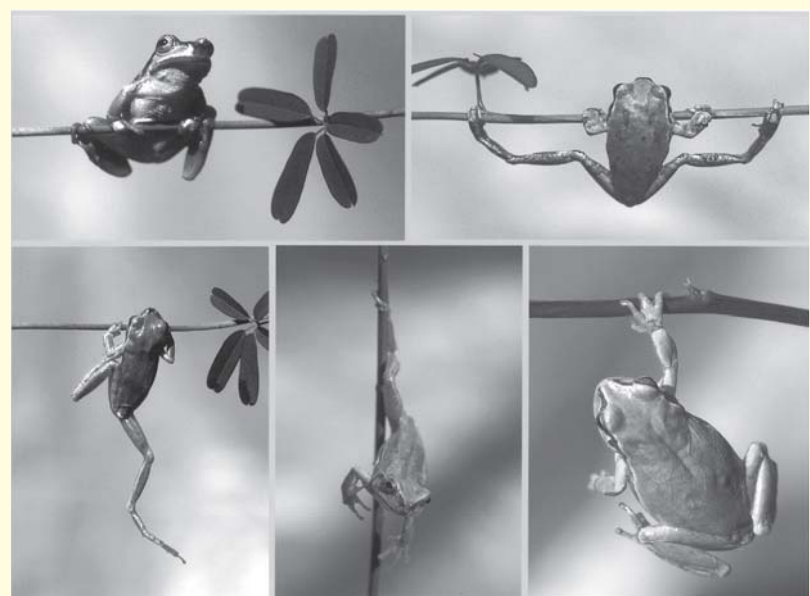
また、9月26日には、短歌と俳句の審査会も行われました。短歌は26点の応募作品の中から、特選2点・褒状5点・高点賞1点が、俳句は55点の応募作品の中から、特選2点・褒状4点・高点賞1点がそれぞれ選ばれました。



▲特選「唄う」武内 和子



▲特選「黄昏の散歩道」横山 豊



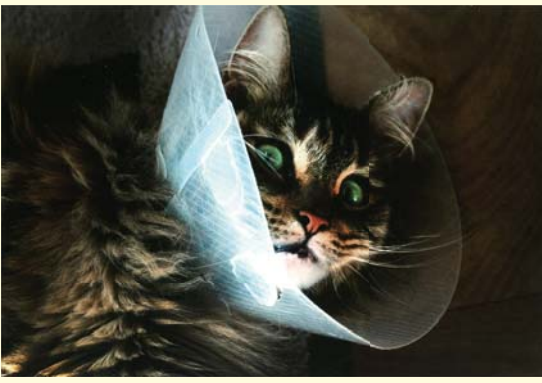
▲特選「アスリート」吉田 公一



▲褒状「ぼくは大将」前田 三興



▲褒状「ペロリ!」葛根 雅代



▲褒状「エリザベスの瞳」吉川 俊一



▲褒状「生いたち」尾立 照子



▲褒状「明日を見つめて」田村 俊司



▲褒状「土に生きて」山崎 静香

短歌会・俳句会

(9月26日・香美市役所)

【短歌会】(選者 岡崎桜雲氏)

特選 耕耘機降りしむる夫おらえるわれ
阿^あ畔^あたり板橋の上と下にて 大岸由起子

特選 やうやくに苗田を渡る風光る
この好日に姑はいまさず 古川 安子

褒状 ゆふすげの見て見られるこの時を
いのちかよはす君はいまさず 前川 竜女

褒状 歌が好き小鳥が好きで花がすき
淋しいことが嫌いな私 山下 弓枝

褒状 教わりし吟を誦し帰りゆく
川の向こうの灯らぬ家に 吉本 悦子

褒状 歳たがわぬ人の訃報を訊く朝
おとも立てずに糸雨のふる 佐々木真里

褒状 蚊^{かや}張張りてベッド置きたる砂の上
サソリや蛇も居ると友の言う 宮地 亀好

高点賞 端居して仰く月光我れひとり
何をうたわんこの静寂に 古谷 由美

【俳句会】(選者 山本采齋氏)

特選 言ひたらぬ事を言ひつつ暮あらふ
山崎 鈴子

特選 お供へを送りて済ます墓参り
利根 弘子

褒状 投網打つごとく降りたつ稲雀
乾 真紀子

褒状 盗まれて盗み返して稲の花
小松 隆之

褒状 敬老日ぼんやり空を仰ぎをり
間崎 和代

褒状 立秋を過ぎてあらたな風の音
山中 節子

高点賞 夫の欠^{あひ}伸^ひもらひて梅雨の昼を倦む
中澤 美晴



▲受賞者の皆さん

